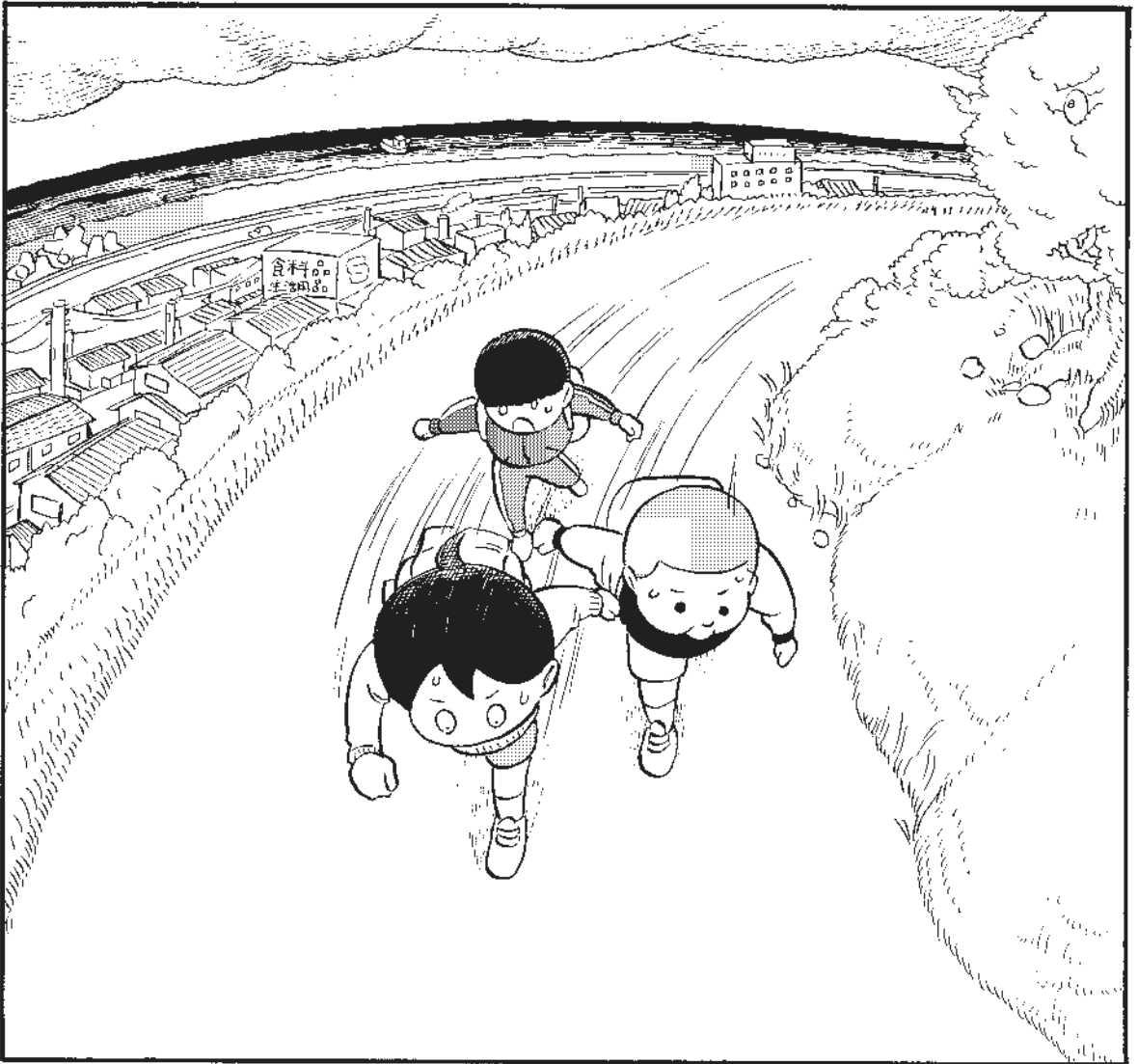


じしんご っ なみ お
[地震後、津波が起こったら]

うみ かわ はな
海や川から離れる

- ▶ きゅう ひ しお っ なみ
急な引き潮は、津波のサイン
- ▶ ひ しお っ なみ ゆ だん
引き潮のない津波もあるので油断しない



海や川から離れる

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① みなとくと友だちのだいちくんとしんたろうくんは、海の近くを歩いていました。海の水が急に引いていきます。引き潮です。浜辺では、たくさんの魚がびちびち跳ねています。
- ② 「見て！海の水が無くなっているよ」。しんたろうくんが気づきました。だいちくは、「魚が取り放題だ。取りに行こうぜ！」と、はしゃいでいます。
- ③ だいちくとしんたろうくんは、堤防を乗り越えて、海辺に魚を取りに行こうとしています。みなとくんは、2人の腕をつかんで「○○○○○」

▶ セリフの例 (行動)

- 「行っちゃだめ」
- 「津波が来るよ」
- 「すぐ逃げよう」

▶ 発問例

- ・海から水が引いたのは、なぜですか？
- ・みなとくんはどうして友だちを止めているのですか？
- ・地震の後に海から水が引いているのを見たら、どうしますか？

■ 教訓シートの説明



- ・海や川の近くにいる時に地震が起こったら、すぐに離れて、高い場所へ避難しましょう。

▶ 急な引き潮は、津波のサイン

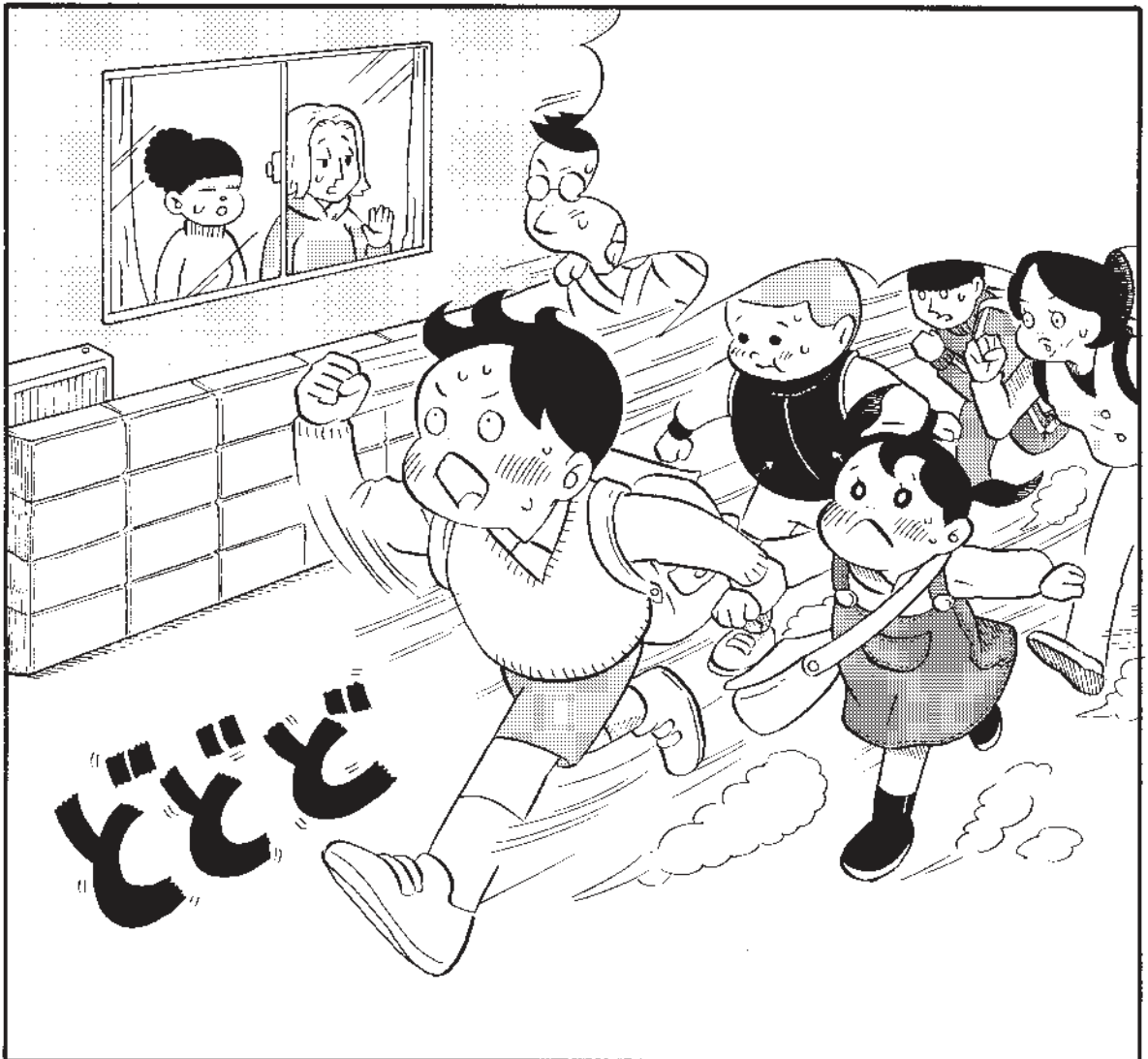
- ・急に海の水が沖の方へ引いていくのを見たら、津波が来るといしましょう。
- ・海の水が引いた後にたくさん魚がいて、取りたくなくても、すぐに逃げましょう。
- ・津波は海から川へさかのぼってきます。川からもすぐに離れましょう。

▶ 引き潮のない津波もあるので油断しない

- ・津波の前に、必ず引き潮があるとは限りません。
- ・引き潮がなくても、地震の後は海や川へ近づかないようにしましょう。

■ 東日本大震災の教訓

地震や津波はいつどこで起こるかわかりません。どこへ行っても高い場所がどこか常に確認するようになった人もいます。また、「とにかく高い所へ避難する訓練が必要。頭でわかっても動けなかった」「津波の予測が外れることになったとしても、とにかく逃げるのが大事」という体験談にあるように、常日頃から地震の後は津波が来るとして、訓練しておくことが大切です。



じしんご　　つなみ　　お
[地震後、津波が起こったら]

せんとう　　た　　に
先頭に立って逃げる

ゆうき　　だ　　ひなん
▶ 勇気を出して避難する

(それが、まわりのひと　　たす
を助けることになる)



Save the Children
JAPAN



+arts
NPO法人プラス・アーツ

先頭に立って逃げる

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① 地震の大きな揺れがおさまりました。みなとくんの近所の家では、男の人と女の人が、ほっとしています。「地震もおさまったし、もうだいじょうぶだね」と女の人。男の人は携帯電話を見ながら、「そうだね」と言っています。
- ② 「おーい!」。外から大きな声が聞こえました。「何だ?」と2人は顔を見合わせました。
- ③ 窓から外を見てみると、みさきちゃんの手を引いたみなとくんを先頭に、子どもや大人が走って避難しています。みなとくんは大声で近所の人たちに知らせています。「〇〇〇〇〇」

▶ セリフの例 (行動)

「避難してください」
 「津波が来るぞ」
 「逃げ」

▶ 発問例

- ・ みなとくんたちは、どうして走っているのですか?
- ・ 家の中にいる人は、みなとくんたちを見てこの後どうしたらいいですか?
- ・ それは、なぜですか?

■ 教訓シートの説明



▶ 勇気を出して避難する (それが、周りの人を助けることになる)

- ・ 地震が起ころ、津波が来るかもしれない状況でも、「自分はだいじょうぶ」「ここはだいじょうぶ」と思いがちです。
- ・ 自分が率先して逃げると、周りの人たちも「逃げないといけない」という気持ちになります。
- ・ 一番に避難を始めるのは、勇気が必要です。勇気をもって、命を守る行動をとりましょう。

■ 東日本大震災の教訓

岩手県釜石市では子どもたちが率先して高台へ走って行きました。その様子を見て、大人たちも避難しました。子どもたちのおかげで、たくさんの人の命が助かりました。